

オダギリ ジョーさん×櫻坂46 山崎天さんが 父娘役 で初共演

“25人のオダギリ ジョー”と“25人の山崎天”で父と娘の12年間を描く、50人ワンカット映像

相鉄東急直通記念ムービー『父と娘の風景』 2023年3月16日（木）より公開

音楽はPUNPEE。ハナレグミの名曲『家族の風景』をサンプリングし『タイムマシーンにのって』を再解釈

相鉄グループの相鉄ホールディングス(株) (本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之)は、相鉄新横浜線・東急新横浜線を2023年3月18日(土)に開業し、相鉄線と東急線の相互直通運転を開始いたします。これを記念し、相鉄ホールディングスでは、俳優 オダギリ ジョーさんと櫻坂46 山崎天さんを起用した相鉄・東急直通線開業記念ムービー『父と娘の風景』を2023年3月16日(木)から、相鉄グループ公式YouTube・特設サイトにて公開します。音楽はPUNPEEとハナレグミがコラボレーション。PUNPEEが、ハナレグミの名曲『家族の風景』をサンプリングし『タイムマシーンにのって』を再解釈した楽曲です。映像ディレクターは、2019年の相鉄都心直通記念ムービー『100 YEARS TRAIN』をはじめ、数々の話題の映像を手掛けるフィルム・ディレクターの柳沢翔監督が務めています。



https://www.youtube.com/watch?v=lseiJCAiF_o

映像 | 『父と娘の風景』

相鉄線を舞台に、“25人のオダギリ ジョー”と“25人の山崎天”で、50人ワンカットで描く父娘の12年間。

「父と娘の風景」をテーマに制作された本ムービーは、娘を持つ父親たちへのインタビューをもとに、誰もが共感できる親子の関係の変化を描いた「12年間の物語」です。

映像では、相鉄線の車内を舞台に、幼少期・思春期・反抗期など小学生から高校卒業までさまざまに変化していく親子の関係を、オダギリさんと山崎さんをはじめ、6歳から46歳まで総勢50人の父娘キャストが演じています。ラストシーンで、相鉄線の駅で降りる父と、相鉄・東急直通線に乗って東京へと向かう娘。春から東京へ通学する娘に「東京、遠いな」と声をかける父に対し、「あっというまだよ」と娘が答えるシーンでは、かつて「遠い」と言っていた幼少期からの成長を感じられぐっと引き込まれます。娘を見守る優しいオダギリさんの表情や、新たな春へ踏み出す山崎さんの表情にぜひご注目ください。



※ムービーカット素材は、別途ご提供のデータのみご使用いただけます。他のカット画像の使用はお控えください。

- タイトル : 相鉄・東急直通線開業記念ムービー『父と娘の風景』
- 主演 : オダギリ ジョーさん、櫻坂46 山崎天さん
- 音楽 : PUNPEE『タイムマシンにのって』x ハナレグミ『家族の風景』
- 監督 : 柳沢翔
- 公開日 : 2023年3月16日（木）
- 公式YouTube : 本編 https://www.youtube.com/watch?v=lseiJCAiF_o
メイキング <https://youtu.be/SZQc4P2ATZM>
- 公式Twitter : https://twitter.com/sotetsu_group
- 特設サイトURL : <https://www.sotetsu.co.jp/2023movie/>

音楽 | PUNPEE『タイムマシンにのって』× ハナレグミ『家族の風景』

映像内の音楽では、相鉄・東急直通線開業＝“つなぐ”にちなんで、2組のアーティストの名曲を“つなぐ”ことで新たな楽曲が誕生。幅広い世代から支持を受けるプロデューサー/ラッパー“PUNPEE”が、深く温かい声と歌唱力で20年以上愛される“ハナレグミ”とコラボレーション。今回のためにボーカルを再録し、アレンジをし直したPUNPEEの代表曲『タイムマシンにのって』に、ハナレグミの代表曲『家族の風景』をサンプルし、別々の楽曲とは思えないほどトラックも歌詞もマッチした音楽の風景が、父と娘の物語を彩っています。



歌詞 ※●＝「タイムマシンにのって」 ▼＝「家族の風景」

●
青春の1ページも たったの1ページで
自慢の人生のハイライトも一夜きりのツイートのバズみたい
君と出会った日のことを覚えてるよ イヤフォン垂らして
この曲をきいていたよ あれから数えて今日は何年目

▼
キッチンにはハイライトとウイスキーグラス
どこにでもあるような 家族の風景
7時には帰っておいでとフライパンマザー
どこにでもあるような 家族の風景

友達のようにでいて 他人のように遠い
愛しい距離が ここにはいつもあるよ

●
人はこれって時にどうしても時間を戻せたらとかいうね
でも誰も直せないや 治せないんだな
昔からそうだし まあしょうがないね
きっと先は不確定不安定 でもお行儀よくちゃつまないね
タイムマシンに乗り込んで トラベラーになれたら

アーティスト



PUNPEE

ラッパー/プロデューサーとして、2009年に自身のグループPSGでの1stアルバム「David」を発表。RedbullのTVCM、TBS系水曜日のダウンタウンのOP、アニメ作品「オッドタクシー」の劇伴音楽を担当するなど、幅広く活動。宇多田ヒカル「光-Ray of Hope MIX-」のオフィシャルRemixを担当し、同楽曲は米iTunes総合チャートで第2位を記録。2022年12月に、前作「The Sofakingdom」の付録的位置付けであり、対になるような作品「Return of The Sofakingdom」を発表した。

コメント

PUNPEEでございます。この度は個人的にも思い出のある楽曲の再構築、感慨深かったです。各駅、快速、特急とありますが時を超えサンプリングという形で相鉄線がタイムマシンとなり、その頃の感覚をゆっくり乗せてきてくれました。

有り難うございます！

P



ハナレグミ

永積崇のソロユニット。1997年、SUPER BUTTER DOG でメジャー・デビュー。2002年夏よりバンドと併行して、ハナレグミ名義でソロ活動をスタート。これまでに8枚のアルバムをリリース。2022年より弾き語りツアーを全国で開催中。代表曲「サヨナラCOLOR」は多数のミュージシャンによりカバーされ続け、竹中直人氏監督により同名映画も制作された。その深く温かい声と抜群の歌唱力で多くのファンから熱い支持を得ている。

<http://www.hanaregumi.jp/>

コメント

まさに音楽はタイムマシン！イントロや歌声やビートその響きに乗って、一瞬でいつかのあの日にひとつ飛びできるんだもの。PUNPEEの名曲『タイムマシンにのって』とハナレグミの『家族の風景』二つが、PUNPEEの最高の再解釈によってこうしてまた新たな一曲になって産まれた事に興奮してます！

ハナレグミ

映像制作の裏側 | Behind The Scenes

“25人のオダギリ ジョー”、“25人の山崎天”、“50人の時間差演技”、“25台のループ車両”、“車窓の光を再現する照明装置”、“12年の歳をとる10秒メイク”。その全てを人力で撮る“50人ワンカット映像”を実現するため、200人以上のクルーが息を合わせて撮影されました。



メイキング映像 | <https://youtu.be/SZQc4P2ATZM>

25人のオダギリ ジョーと25人の山崎天で撮る、50人ワンカット映像

父と娘の12年間でワンカットで撮影するために、オダギリさんと山崎さん、そして、48人の父娘キャストが共演。衣装の変化、ヘアメイクの変化、そして、綿密な検証と練習を行なって撮影された“50人の時間差演技”によって、時間の変化とそれとともに移ろう父娘の距離の変化を描いています。



電車が走るように蛇行する、25台のループ車両

本ムービーのもうひとつの見どころが“ループ車両”。父娘が立つ車両の一部分が、まるで金太郎飴のようにループしながら、左右に蛇行していき、父娘の関係性の変化を演出しています。撮影は、輪切りにされた美術セットを25台用意し、カウントに合わせてひとつひとつ人力で動かしながら撮影されました。



オダギリさんがセット裏を疾走、12年の歳をとる10秒メイク

幼少期の娘とともに“1人目の父”を演じたオダギリさんは、その後、セット裏を30メートル疾走。途中、10秒間のヘアメイクによって12年後の姿となり、“25人目の父”として再びセット内へ。12年後の娘を演じる山崎さんと、クライマックスシーンを演じます。



監督 | 柳沢翔



プロフィール

多摩美術大学美術学部油画専攻卒業。カンヌ国際広告祭、Clio Awards、One Showフィルム部門ゴールド、ACC ベストディレクター、ADFESTグランプリほか受賞多数。海外ではPRETTY BIRD(US)、RSA film(UK)、DIVISION(FR)所属。

コメント

ある親子の12年間で、25人のオダギリさんと25人の天さんと、ちょっと変なセットで表現しました。キャストがスタジオで全員並んでる光景は 不可思議で、でもどこかゆるくて、スタッフ全員ワクワクが止まりませんでした！映像にあたたかさを添えてくれたPさん×ハナレグミさんの音楽も是非聞いてほしいです！

撮影エピソード

オダギリ ジョーさん・山崎天さんと200人以上のキャスト・スタッフが想いを一つにして挑んだ撮影現場

メイクから衣装までそっくり似せた48名の“オダギリさん役”と“山崎さん役”のキャストを前に、驚きながらスタジオ入りされたお二人。一つ一つ表情やセリフのニュアンスについて、スタッフと細やかな部分まで打ち合わせるオダギリさんの真剣な表情からは、心動かす動画に仕上げたいという熱意を感じられました。本番中はワンカット撮影の緊張感が漂いながらも、合間には子供たちとの可愛らしい会話が見られた撮影現場。子役からの「頑張りましょう」の掛け声に元気をもらった山崎さんが、カメラマンの方に向きガッツポーズで応える場面もあり、多くのキャスト、スタッフが一丸となって撮影に挑んだ現場でした。



オダギリさん、山崎さんスペシャルインタビュー

Q：撮影の感想をお願いします。

オダギリさん：面白かったですよね。こういう手の込んだスケールの作品は少ないので、すごく楽しかったです。
山崎さん：こだわりがすごく強かったです。

Q：お二人は初共演とのことですが、おたがいの印象や共演した感想をお願いします。

オダギリさん：天ってすごい名前だなというのと、お父さんが自分より若いのに驚きました。
山崎さん：クールな方だなと思いました。こんなお父さん中々いないなって思います。
洪くて、洒落たお父さんだなと思いましたし、一緒に（撮影）しているシーンとかは
すごく娘のことを思ってくれている、遠くの方から見守ってくれる優しいお父さんだなと思いました。

Q：映像では、反抗期など親子の距離の変化を描いています。山崎さんをご両親に反抗してしまう時期はありましたか？

山崎さん：反抗期はがっつりあったタイプなので、小学校5年生の時は毎日喧嘩していて、お母さんが家を出て行っていましたね。もう今はめっちゃめっちゃ仲良しですが、昔はありましたね。
オダギリさん：女の子とお母さんは合う合わないかはっきりしますよね。

Q：映像では、幼少期の娘が「遠い」と言うシーンがあります。子供の頃に遠くの町まで電車で行った思い出はありますか？

オダギリさん：僕は地元が岡山なんですが、長い休みは必ず神戸の親戚の家に電車で行っていたんですよ。小学生の時は、行きの駅で母親との別れに泣いて、また岡山に戻る電車の窓外の親戚に向かって泣いて。別れに毎回泣いていましたね。
山崎さん：遠くの町に出かけたというよりは、改札に入るときに子供料金の切符を入れるとき、ビピーって音が鳴るんですけど、身長が高い子供だったので毎回駅員さんに疑われていました。すごく覚えています。

Q：今回の相鉄・東急直通線開業で、新幹線も停車する新横浜へのアクセスが便利になります。オダギリさんは岡山、山崎さんは大阪のご出身ですが、横浜エリアへの思い出やイメージをお聞かせください。

山崎さん：横浜は赤レンガがあるじゃないですか。メンバーの森田ひかるとクリスマスイブにクリスマスマーケットをやっていたので、2人でプライベートで遊びに行きました。
オダギリさん：古い町並みとか建物が残っていたり、ロケに似合う街なんですよ。若い時から横浜で撮影することが多かったので、画になる街だなって印象があります。

Q：今回の楽曲は、PUNPEE「タイムマシーンにのって」とハナレグミ「家族の風景」のコラボレーションです。楽曲を聴いてどう思われましたか？

山崎さん：すごくおしゃれで、今日撮った映像にあの音楽が合わさるとすごく良くなるだろうなと思います。時の流れも感じたりとか、今回カウントで厳密に撮影したので、ぴったりはまると思うおもしろい映像になるのではないかなと思います。私もすごく楽しみにしています。
オダギリさん：家族・父娘をテーマにしていますし、ぱっちりまるんじゃないですか。

Q：お二人が思い浮かべる「家族の風景」はどんなものですか？

山崎さん：私の家族はカラオケがとにかく好きなので、お正月は帰るといつもカラオケに行って歌って踊るので、それが家族のスタイルかなと思います。
オダギリさん：それはかなり仲いいですね。
山崎さん：仲いいですね。（姉妹が）下が2人いるのでその2人がずっと歌ってます。
オダギリさん：親の前でよく歌えますね！（笑）僕、絶対無理です。恥ずかしくて。でもうらやましいですね。

Q：「タイムマシーンにのって」行ってみたい瞬間はありますか？

山崎さん：自分が生まれた瞬間とか、妹が生まれた瞬間とか見に行きたいですね。写真でしかやはり生まれた瞬間は見れないので、映像だとまた違うんだろうなと気になりますね。

Q：映像をご覧になる方へメッセージをお願いします。

オダギリさん：日々続いていく暮らしとそれに寄り添う電車の姿を映した素敵なおムービーになったかと思います。是非多くの人に見ていただきたいです。
山崎さん：1人の娘として役に共感できることもすごくあり、成長と巣立ちの物語を精一杯演じさせていただきました。父と娘の関係が変化していく姿に是非注目していただきたいですし、すごくおもしろい映像になっているかと思うので、何回も繰り返し細かいところまで見ていただけたらと思います。



オダギリ ジョー

1976年生まれ、岡山県出身。

アメリカと日本でメソッド演技法を学び、『アカルイミライ』(03/黒沢清監督)で映画初主演。昨年は映画『ぜんぶ、ボクのせい』(松本優作監督)、NHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」、TBS系日曜劇場「アトムの子」の出演が話題を呼ぶ。NHKドラマ「オリバーな犬、(Gosh!!)このヤロウ」(脚本・演出・出演・編集)では21年・22年と連続で放送され、東京ドラマアウォード2022単発ドラマ部門でグランプリを受賞するなど多才な活躍をみせる。



山崎天

2005年生まれ、大阪府出身。櫻坂46 2期生。

2022年、櫻坂46の4thシングル『五月雨よ』の表題曲でセンターを務める。2021年より坂道グループからは初の雑誌『ViVi』（講談社）専属モデルに就任し活動の幅を広げるほか、最近では1月26日に公開されたユニバーサル・スタジオ・ジャパンの新CMに出演している。

相鉄グループについて



相鉄グループは、相鉄ホールディングスを持株会社とする35社（営業休止中の会社を除く）で構成する企業集団で、運輸業、流通業、不動産業、ホテル業、その他の分野で事業活動を展開しています。

生活に密着したサービス・お客さまのニーズを捉えた裾野の広いサービスを提供し、地域社会の発展に貢献しています。グループブランドメッセージ「ときめきとやすらぎをつなぐ」は、相鉄グループが、「都会の上質なときめき」と「沿線に住まうやすらぎ」が調和する「喜びに満ちた快適な暮らし」をお客さまにお届けすることを約束するものです。

▼相鉄グループ

<https://www.sotetsu.co.jp/>

▼都心直通プロジェクト

https://www.sotetsu.co.jp/future/into_tokyo/

本件に関するお問い合わせ先

「相鉄・東急直通線開業記念ムービー」PR事務局（株式会社マテリアル内）
TEL：03-5459-5490 / FAX：03-5459-5491 / MAIL：2-2bp@materialpr.jp
担当：高野（070-2492-4262）/永戸（070-4515-7682）